

「過去に解析済みのリンパ節病理組織学的標本を用いた形態学的な再解析」

令和5年1月10日

東京大学大学院医学系研究科衛生学分野では、以下にご説明しますように、過去に個人情報と切り離された状態で解析されていた病理組織学的標本をそのまま用いた再解析研究を行っています。この研究は、Epstein-Barr virus などによるリンパ増殖性疾患についての科学的知見を深め、将来の医療に役立てる上で重要と考えています。

この研究は東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて行われています。

東京大学大学院医学系研究科衛生学分野では、1990年代頃に東京大学医学部附属病院で手術・生検などによって採取され、個人情報とは切り離された状態にされたリンパ節の病理組織学的標本(スライドガラス上に乗せた組織片)、およびその当時に個人情報とは切り離された状態で米国から東京大学医科学研究所へ譲渡された HIV 陽性リンパ節病理組織学的標本をそのまま用いて、病理組織学的な再解析研究を行っています。本研究では、希少な試料の再解析を行うことによって、リンパ増殖性疾患などの分子メカニズムに関する考察を加えます。また本研究では、それらの病理組織学的標本を浜松医科大学へ持参して電子顕微鏡を用いた形態観察を行うことがあります。

この研究で再解析に用いる標本は、本研究のために入手する前から、対応表が存在せず個人を辿ることが出来ない状態で過去に解析されていた標本ですので、この研究では、私たち研究者であっても患者さんの個人情報を知ることは出来ず、この研究において患者さんの個人情報は扱いません。この研究によって得られた成果を学会や論文で発表することがありますが、この研究では患者さんの個人情報とは切り離された状態で再解析を行うものですので、患者さんの個人情報が漏洩することはありません。

この研究は以下の機関を主たる研究機関として実施されます。

- ・東京大学大学院医学系研究科衛生学分野（研究責任者：石川 俊平）

また2022年9月12日現在、以下の研究機関との共同研究を予定しています。

- ・浜松医科大学ナノスーツ開発研究部（河崎 秀陽）

この研究で病理組織学的標本を使用する範囲は以上の機関に限られます。なお共同研究機関に追加や変更が生じた場合には、こちらのウェブサイトにて公示します。

研究責任者：石川 俊平

東京大学大学院医学系研究科 衛生学分野

電話 03-5841-3434

Fax 03-5841-3434